



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年4月24日

上場会社名 株式会社エイアンドティー 上場取引所 東
 コード番号 6722 URL <http://www.aandt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三坂 成隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 新国 泰正 TEL 045-440-5810
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,892	24.5	591	46.0	585	46.6	368	41.2
26年12月期第1四半期	2,322	△0.3	405	91.9	399	93.7	260	81.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	58.89	—
26年12月期第1四半期	41.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	10,447	5,243	50.2	838.12
26年12月期	9,708	4,972	51.2	794.77

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 5,243百万円 26年12月期 4,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期（予想）	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,800	10.5	610	37.0	600	39.1	380	33.1	60.73
通期	9,800	2.4	900	5.1	880	5.7	580	27.3	92.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	6,257,900株	26年12月期	6,257,900株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	1,091株	26年12月期	1,051株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	6,256,819株	26年12月期1Q	6,256,849株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、原油価格の下落や新興国経済の減速等の懸念はあるものの、円安・株高傾向の定着化、輸出関連企業を中心とした業績の改善、設備投資の回復、賃上げによる所得の増加等、景気は緩やかな回復傾向が持続しております。

国内の医療業界におきましては、医療費抑制が喫緊の政策課題となっており、医療保険制度の安定化と継続可能性を確保するため、医療保険制度改革関連法案が閣議決定されております。

このような事業環境のもと、当社は国内・海外における既存顧客の更新需要の取り込み、新規顧客の獲得に注力してまいりました。また、製品の保守・サービス体制を強化し、業務委託の削減、内製化の推進等により、利益率の改善に努めてまいりました。研究開発につきましては、検体検査装置の後継機種、臨床検査試薬の改良品、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムにおける各新製品の年内上市に向け、開発を推進しております。同時にコア技術である電解質、グルコースセンサーの品質・性能強化及び海外規制に対応した開発を継続しております。

当第1四半期累計期間の販売実績を製品系列別に表示すると、次のとおりであります。

区分	前第1四半期 累計期間		当第1四半期 累計期間		前年同期比	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
臨床検査機器システム	1,071,037	46.1	1,618,895	55.9	547,858	51.2
検体検査装置	201,572	8.7	187,540	6.5	△14,032	△7.0
臨床検査情報システム	750,780	32.3	1,143,674	39.5	392,894	52.3
検体検査自動化システム	118,685	5.1	287,682	9.9	168,997	142.4
臨床検査試薬	592,509	25.6	626,583	21.7	34,074	5.8
消耗品	451,580	19.4	433,275	15.0	△18,305	△4.1
その他	207,066	8.9	213,313	7.4	6,246	3.0
合計	2,322,192	100.0	2,892,066	100.0	569,874	24.5

①臨床検査機器システム

臨床検査機器システムにつきましては、検体検査装置のOEM販売は堅調に推移いたしましたが、直接販売が停滞し減収となりました。一方、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの国内大型案件が増加したこと等により、売上高は1,618,895千円（前年同期比51.2%増）となりました。

②臨床検査試薬

臨床検査試薬につきましては、OEM販売が堅調に推移し、売上高は626,583千円（同5.8%増）となりました。

③消耗品

消耗品につきましては、OEM先からの受注は増加いたしましたが、価格改定等の影響により、売上高は433,275千円（同4.1%減）となりました。

④その他

その他につきましては、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの国内大型案件に付随する他社製品の販売は前年並みに推移し、売上高は213,313千円（同3.0%増）となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は2,892,066千円（同24.5%増）となりました。利益面につきましては、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの増収効果等により、売上総利益は1,424,224千円（同15.6%増）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、主に研究開発部門における投資案件の見極め、業務委託の削減等により、新卒・中途採用の増加に伴う人件費上昇の抑制に努めてまいりました。その結果、営業利益は591,704千円（同46.0%増）、経常利益は585,627千円（同46.6%増）となりました。また、四半期純利益は、当社の関係会社である東軟安徳医療科技有限公司の出資金について、特別損失として、関係会社出資金評価損31,125千円を計上した結果、368,438千円（同41.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ739,122千円増加し、10,447,571千円となりました。流動資産は同808,726千円の増加、固定資産は同69,603千円の減少となりました。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が803,418千円増加したことによるものです。固定資産の減少の主な要因は、関係会社出資金が評価減により118,221千円減少したことと、それに伴い投資損失引当金の全額を目的取崩したことによるものです。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ467,910千円増加し、5,203,628千円となりました。流動負債は同477,155千円の増加、固定負債は同9,244千円の減少となりました。流動負債の増加の主な要因は、短期借入金が500,000千円増加したことによるものです。固定負債の減少の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金を短期借入金へ振替えたことによるものです。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ271,212千円増加し、5,243,943千円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績及び事業環境を踏まえ、第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。詳細は、平成27年4月24日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,873	695,006
受取手形及び売掛金	4,381,347	5,184,765
商品及び製品	412,469	436,163
仕掛品	277,881	347,873
原材料及び貯蔵品	529,451	511,972
その他	291,969	262,741
貸倒引当金	△4,381	△5,184
流動資産合計	6,624,612	7,433,338
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	641,958	627,921
土地	1,356,626	1,356,626
その他（純額）	269,901	251,028
有形固定資産合計	2,268,485	2,235,576
無形固定資産	132,131	123,167
投資その他の資産		
関係会社出資金	377,956	259,735
その他	392,358	395,753
投資損失引当金	△87,095	—
投資その他の資産合計	683,219	655,488
固定資産合計	3,083,836	3,014,233
資産合計	9,708,449	10,447,571
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,555,202	1,650,120
短期借入金	1,160,000	1,660,000
未払法人税等	60,860	210,078
製品保証引当金	132,809	111,081
賞与引当金	6,579	75,909
その他	837,910	523,327
流動負債合計	3,753,361	4,230,516
固定負債		
長期借入金	940,000	930,000
資産除去債務	5,772	5,790
その他	36,583	37,321
固定負債合計	982,356	973,112
負債合計	4,735,718	5,203,628

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	577,610	577,610
資本剰余金	554,549	554,549
利益剰余金	3,813,112	4,081,441
自己株式	△561	△594
株主資本合計	4,944,711	5,213,007
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,019	30,936
評価・換算差額等合計	28,019	30,936
純資産合計	4,972,731	5,243,943
負債純資産合計	9,708,449	10,447,571

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）	当第1四半期累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年3月31日）
売上高	2,322,192	2,892,066
売上原価	1,090,311	1,467,841
売上総利益	1,231,881	1,424,224
販売費及び一般管理費	826,497	832,519
営業利益	405,383	591,704
営業外収益		
受取利息	10	12
保険事務手数料	250	242
受取保険金	1,213	—
受取賃貸料	184	95
その他	610	72
営業外収益合計	2,270	423
営業外費用		
支払利息	6,880	5,112
為替差損	1,218	1,352
その他	6	35
営業外費用合計	8,105	6,501
経常利益	399,548	585,627
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	31,125
特別損失合計	—	31,125
税引前四半期純利益	399,548	554,501
法人税等	138,646	186,063
四半期純利益	260,901	368,438

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社の事業形態は、主として臨床検査に関する製品及びサービスを顧客に提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。